

◆資産関係

① ポートフォリオの推移(一般勘定)

a. 資産の構成

(単位：百万円、%)

区 分	平成25年度末		平成26年度末	
	金額	占率	金額	占率
現預金・コールローン	430,981	1.8	551,413	2.2
買入金銭債権	289,088	1.2	243,446	1.0
有価証券	19,507,535	82.1	20,991,510	83.9
公社債	12,526,843	52.7	12,748,042	51.0
株式	1,218,629	5.1	1,644,083	6.6
外国証券	5,729,106	24.1	6,563,751	26.2
公社債	5,191,255	21.8	5,983,458	23.9
株式等	537,850	2.3	580,292	2.3
その他の証券	32,955	0.1	35,633	0.1
貸付金	2,465,539	10.4	2,322,696	9.3
保険約款貸付	335,002	1.4	323,711	1.3
一般貸付	2,130,536	9.0	1,998,985	8.0
不動産	701,212	2.9	661,398	2.6
うち投資用	497,088	2.1	464,290	1.9
繰延税金資産	123,415	0.5	—	—
その他	255,612	1.1	244,064	1.0
貸倒引当金	△ 2,189	△ 0.0	△ 1,757	△ 0.0
一般勘定計	23,771,196	100.0	25,012,772	100.0
うち外貨建資産	3,856,203	16.2	4,473,488	17.9

(注)「不動産」については土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を計上しています。

b. 資産の増減

(単位：百万円)

区 分	平成25年度	平成26年度
	金額	金額
現預金・コールローン	△78,800	120,432
買入金銭債権	△21,152	△45,642
有価証券	751,573	1,483,974
公社債	596,419	221,198
株式	180,019	425,453
外国証券	△19,319	834,644
公社債	29,900	792,202
株式等	△49,220	42,442
その他の証券	△5,545	2,678
貸付金	△197,884	△142,842
保険約款貸付	△9,389	△11,291
一般貸付	△188,495	△131,551
不動産	△108,602	△39,813
うち投資用	△94,206	△32,797
繰延税金資産	△11,192	△123,415
その他	6,368	△11,548
貸倒引当金	1,134	432
一般勘定計	341,445	1,241,576
うち外貨建資産	156,388	617,285

(注)「不動産」については土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を計上しています。

② 資産別運用利回り(一般勘定)

(単位：%)

区 分	平成25年度	平成26年度
現預金・コールローン	0.10	0.09
買入金銭債権	2.06	1.88
有価証券	1.82	1.82
うち公社債	1.83	1.79
うち株式	△ 3.42	△ 5.75
うち外国証券	2.64	2.92
公社債	2.45	2.86
株式等	4.21	3.59
貸付金	2.20	2.04
うち一般貸付	1.84	1.66
不動産	2.29	2.44
うち投資用	3.14	3.45
一般勘定計	1.73	1.73
うち海外投融資	2.40	2.76

(注) 1. 利回り計算式の分母は帳簿価額ベースの日々平均残高、分子は経常損益中、資産運用収益－資産運用費用として算出した利回りです。

2. 当利回りの算出においては、デリバティブによる損益を分子に含めています。

3. 海外投融資とは、外貨建資産と円貨建資産の合計です。

③ 主要資産の平均残高(一般勘定)

(単位:百万円)

区 分	平成25年度	平成26年度
現預金・コールローン	139,366	193,645
買入金銭債権	275,979	261,518
有価証券	18,573,082	19,635,438
うち公社債	12,307,064	12,671,417
うち株式	868,555	874,625
うち外国証券	5,372,947	6,068,044
公社債	4,800,319	5,505,300
株式等	572,628	562,743
貸付金	2,567,205	2,415,895
うち一般貸付	2,222,360	2,080,864
不動産	804,099	694,574
うち投資用	586,712	491,027
一般勘定計	22,903,430	23,755,071
うち海外投融資	5,494,252	6,199,781

④ 商品有価証券明細表(一般勘定) 商品有価証券は、取り扱っていません。

⑤ 商品有価証券売買高(一般勘定) 商品有価証券は、取り扱っていません。

⑥ 有価証券明細表(一般勘定)

(単位:百万円,%)

区 分	平成25年度末		平成26年度末	
	金額	占率	金額	占率
国債	10,010,100	51.3	10,213,385	48.7
地方債	72,010	0.4	49,523	0.2
社債	2,444,732	12.5	2,485,133	11.8
うち公社・公団債	1,784,396	9.1	1,797,622	8.6
株式	1,218,629	6.2	1,644,083	7.8
外国証券	5,729,106	29.4	6,563,751	31.3
公社債	5,191,255	26.6	5,983,458	28.5
うち外貨建	3,709,120	19.0	4,256,300	20.3
株式等	537,850	2.8	580,292	2.8
うち外貨建	82,088	0.4	124,530	0.6
その他の証券	32,955	0.2	35,633	0.2
合 計	19,507,535	100.0	20,991,510	100.0
うち外貨建	3,798,956	19.5	4,425,977	21.1

⑦ 有価証券残存期間別残高(一般勘定)

(平成25年度末)

(単位:百万円)

区分	1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超	期間の定め のないもの	合計
有価証券	839,602	1,780,961	1,235,189	1,136,381	1,863,349	10,840,670	1,811,380	19,507,535
国債	201,883	426,144	190,903	245,158	451,822	8,494,188	—	10,010,100
地方債	46,106	17,192	1,952	4,067	2,692	—	—	72,010
社債	288,458	471,505	244,563	88,745	193,907	1,135,213	22,338	2,444,732
株式							1,218,629	1,218,629
外国証券	302,792	866,119	797,770	798,411	1,214,928	1,211,268	537,816	5,729,106
公社債	302,758	866,119	797,770	798,411	1,214,928	1,211,268	—	5,191,255
株式等	34	—	—	—	—	—	537,816	537,850
その他の証券	360	—	—	—	—	—	32,595	32,955
買入金銭債権	39,995	2,240	—	—	—	204,363	—	246,599
譲渡性預金	37,997	—	—	—	—	—	—	37,997
その他	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	917,595	1,783,202	1,235,189	1,136,381	1,863,349	11,045,033	1,811,380	19,792,132

(平成26年度末)

(単位:百万円)

区分	1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超	期間の定め のないもの	合計
有価証券	460,438	1,940,963	1,225,223	1,274,308	2,148,176	11,650,155	2,292,245	20,991,510
国債	135,083	386,580	149,841	349,860	459,687	8,732,331	—	10,213,385
地方債	7,445	5,172	5,057	—	8,611	23,237	—	49,523
社債	201,465	387,528	153,054	72,591	358,154	1,280,067	32,270	2,485,133
株式							1,644,083	1,644,083
外国証券	116,443	1,161,681	917,268	851,856	1,321,723	1,614,519	580,257	6,563,751
公社債	116,408	1,161,681	917,268	851,856	1,321,723	1,614,519	—	5,983,458
株式等	35	—	—	—	—	—	580,257	580,292
その他の証券	—	—	—	—	—	—	35,633	35,633
買入金銭債権	19,992	1,343	—	—	—	181,243	—	202,579
譲渡性預金	99,983	—	—	—	—	—	—	99,983
その他	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	580,414	1,942,307	1,225,223	1,274,308	2,148,176	11,831,399	2,292,245	21,294,073

(注)本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

⑧ 地域別地方債保有内訳(一般勘定)

(単位:百万円)

区分	平成25年度末	平成26年度末
北海道	—	—
東北	—	—
関東	38,409	32,189
中部	16,668	9,186
近畿	5,434	2,604
中国	4,589	—
四国	—	—
九州	6,909	5,542
合計	72,010	49,523

⑨ 保有公社債の期末残高利回り(一般勘定)

(単位:%)

区分	平成25年度末	平成26年度末
公社債	1.85	1.83
外国公社債	3.70	3.69

(注)本表記載の数値は、国庫短期証券を除いて算出しています。

10 業種別株式保有明細表(一般勘定)

(単位:百万円、%)

区 分	平成25年度末		平成26年度末		
	金額	占率	金額	占率	
水産・農林業	158	0.0	214	0.0	
鉱業	92	0.0	99	0.0	
建設業	39,555	3.2	50,864	3.1	
製 造 業	食料品	37,624	3.1	57,127	3.5
	繊維製品	7,076	0.6	9,216	0.6
	パルプ・紙	5,673	0.5	5,546	0.3
	化学	104,837	8.6	175,605	10.7
	医薬品	66,498	5.5	107,912	6.6
	石油・石炭製品	4,622	0.4	4,483	0.3
	ゴム製品	5,413	0.4	7,567	0.5
	ガラス・土石製品	15,801	1.3	16,580	1.0
	鉄鋼	26,509	2.2	32,536	2.0
	非鉄金属	35,802	2.9	41,498	2.5
	金属製品	6,613	0.5	7,990	0.5
	機械	86,835	7.1	115,867	7.0
	電気機器	161,452	13.2	211,092	12.8
	輸送用機器	37,619	3.1	51,811	3.2
	精密機器	5,726	0.5	7,160	0.4
その他製品	22,366	1.8	30,934	1.9	
電気・ガス業	29,875	2.5	36,955	2.2	
運 輸 ・ 情 報 通 信 業	陸運業	100,886	8.3	155,941	9.5
	海運業	4,940	0.4	5,288	0.3
	空運業	2,478	0.2	4,048	0.2
	倉庫・運輸関連業	7,179	0.6	9,063	0.6
	情報・通信業	9,174	0.8	11,310	0.7
商 業	卸売業	76,872	6.3	83,182	5.1
	小売業	17,693	1.5	25,082	1.5
金 融 ・ 保 険 業	銀行業	157,581	12.9	218,247	13.3
	証券、商品先物取引業	10,702	0.9	11,557	0.7
	保険業	77,178	6.3	88,707	5.4
	その他金融業	3,123	0.3	3,667	0.2
不動産業	14,868	1.2	15,425	0.9	
サービス業	35,793	2.9	41,495	2.5	
合 計	1,218,629	100.0	1,644,083	100.0	

(注)業種区分は、「証券コード協議会」の「業種別分類項目」に準拠しています。

11 有価証券等の時価情報(一般勘定)

a. 売買目的有価証券の評価損益

平成25年度末、平成26年度末ともに残高がないため、記載していません。

b. 有価証券の時価情報

●有価証券の時価情報(売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの)

(単位：百万円)

区 分	帳簿価額	時価	平成25年度末		
			差損益		
				差益	差損
満期保有目的の債券	1,849,463	2,043,711	194,248	194,450	△202
責任準備金対応債券	11,017,008	12,016,439	999,431	1,002,270	△2,839
子会社・関連会社株式	33,173	26,949	△6,224	—	△6,224
その他有価証券	5,696,439	6,295,483	599,044	636,213	△37,169
公社債	1,049,875	1,072,292	22,416	22,590	△173
株式	773,053	1,122,423	349,370	379,075	△29,705
外国証券	3,576,239	3,784,083	207,844	214,507	△6,663
公社債	3,570,313	3,779,335	209,022	214,432	△5,409
株式等	5,926	4,747	△1,178	75	△1,253
その他の証券	24,635	32,087	7,451	8,062	△610
買入金銭債権	234,635	246,599	11,963	11,978	△14
譲渡性預金	38,000	37,997	△2	—	△2
その他	—	—	—	—	—
合 計	18,596,085	20,382,584	1,786,499	1,832,935	△46,436
公社債	12,504,427	13,542,685	1,038,257	1,041,418	△3,161
株式	773,053	1,122,423	349,370	379,075	△29,705
外国証券	5,021,333	5,400,791	379,458	392,399	△12,941
公社債	4,982,232	5,369,094	386,861	392,324	△5,463
株式等	39,100	31,697	△7,402	75	△7,477
その他の証券	24,635	32,087	7,451	8,062	△610
買入金銭債権	234,635	246,599	11,963	11,978	△14
譲渡性預金	38,000	37,997	△2	—	△2
その他	—	—	—	—	—

区 分	帳簿価額	時価	平成26年度末		
			差損益		
				差益	差損
満期保有目的の債券	2,059,190	2,383,300	324,109	324,244	△134
責任準備金対応債券	11,209,377	12,711,116	1,501,738	1,502,085	△346
子会社・関連会社株式	33,173	23,372	△9,801	—	△9,801
その他有価証券	6,109,247	7,344,762	1,235,515	1,242,124	△6,609
公社債	1,091,825	1,139,283	47,458	47,638	△180
株式	773,544	1,542,884	769,339	775,208	△5,868
外国証券	3,928,950	4,325,405	396,455	396,996	△541
公社債	3,927,074	4,323,648	396,574	396,960	△386
株式等	1,876	1,757	△118	36	△155
その他の証券	24,589	34,626	10,036	10,036	—
買入金銭債権	190,337	202,579	12,241	12,244	△2
譲渡性預金	100,000	99,983	△16	—	△16
その他	—	—	—	—	—
合 計	19,410,990	22,462,552	3,051,562	3,068,453	△16,891
公社債	12,700,583	14,272,895	1,572,311	1,572,927	△615
株式	773,544	1,542,884	769,339	775,208	△5,868
外国証券	5,621,934	6,309,582	687,648	698,037	△10,388
公社債	5,586,884	6,284,453	697,569	698,000	△431
株式等	35,050	25,129	△9,920	36	△9,957
その他の証券	24,589	34,626	10,036	10,036	—
買入金銭債権	190,337	202,579	12,241	12,244	△2
譲渡性預金	100,000	99,983	△16	—	△16
その他	—	—	—	—	—

(注) 本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の帳簿価額は以下のとおりです。

(単位：百万円)

区 分	平成25年度末	平成26年度末
満期保有目的の債券	—	—
非上場外国債券	—	—
その他	—	—
責任準備金対応債券	—	—
子会社・関連会社株式	72,290	115,403
その他有価証券	515,586	515,935
非上場国内株式(店頭売買株式を除く)	24,580	24,573
非上場外国株式(店頭売買株式を除く)	490,321	490,321
非上場外国債券	—	—
その他	685	1,040
合 計	587,876	631,338

責任準備金対応債券について

・当社では、金利変動に対する資産・負債の時価変動を適切に管理する観点から、「保険業における「責任準備金対応債券」に関する当面の会計上及び監査上の取扱い」(日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第21号)に基づき、以下の保険契約群(小区分)を特定したうえで、これらに対応する円建債券の保有目的区分を「責任準備金対応債券」としています。

- ライプワン(最低保証利率付3年ごと利率変動型積立保険等の主契約)
 - エクト(予定利率変動型無配当個人年金保険(一時払い))
 - 一時払養老保険(ただし、一部を除く)
 - 利率変動型終身保険(一時払)(予定利率変動型5年ごと利差配当付増終身保険(一時払い)等)
 - 個人保険及び個人年金保険契約(ただし、一部保険種類を除く)
 - 確定拠出年金保険及び新単位口別利率設定特約
 - 確定給付企業年金保険(02)・新企業年金保険(単位口別利率設定特約及び新単位口別利率設定特約を除く)等契約の今後20年以内に発生する見込みのキャッシュ・フローに対応する責任準備金
 - 拠出型企業年金保険契約の今後20年以内に発生する見込みのキャッシュ・フローに対応する責任準備金
- ・これらの小区分において、保険契約群の責任準備金と、対応する保有債券のデュレーション(金利変動に対する時価変動の程度)が、一定幅の中で一致していることを定期的に検証しています。

c. 金銭の信託の時価情報

●運用目的の金銭の信託

平成25年度末、平成26年度末ともに残高がないため、記載していません。

●運用目的以外の金銭の信託

平成25年度末、平成26年度末ともに残高がないため、記載していません。

(ご参考)

金融商品に係る会計基準における「時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券」についても一定の前提をおいて算定した価額を含めた場合の時価情報は以下のとおりです。

(単位：百万円)

区 分	平成25年度末				
	帳簿価額	時価	差損益	差	
				差益	差損
満期保有目的の債券	1,849,463	2,043,711	194,248	194,450	△202
責任準備金対応債券	11,017,008	12,016,439	999,431	1,002,270	△2,839
子会社・関連会社株式	105,464	99,090	△6,373	—	△6,373
その他有価証券	6,212,026	6,820,197	608,170	645,344	△37,173
公社債	1,049,875	1,072,292	22,416	22,590	△173
株式	797,633	1,147,003	349,370	379,075	△29,705
外国証券	4,066,598	4,283,348	216,750	223,416	△6,666
公社債	3,570,313	3,779,335	209,022	214,432	△5,409
株式等	496,285	504,012	7,727	8,984	△1,257
その他の証券	25,282	32,955	7,672	8,282	△610
買入金銭債権	234,635	246,599	11,963	11,978	△14
譲渡性預金	38,000	37,997	△2	—	△2
その他	—	—	—	—	—
合 計	19,183,961	20,979,438	1,795,476	1,842,066	△46,589
公社債	12,504,427	13,542,685	1,038,257	1,041,418	△3,161
株式	869,259	1,218,629	349,370	379,075	△29,705
外国証券	5,512,356	5,900,570	388,214	401,309	△13,094
公社債	4,982,232	5,369,094	386,861	392,324	△5,463
株式等	530,123	531,476	1,353	8,984	△7,631
その他の証券	25,282	32,955	7,672	8,282	△610
買入金銭債権	234,635	246,599	11,963	11,978	△14
譲渡性預金	38,000	37,997	△2	—	△2
その他	—	—	—	—	—

区 分	平成26年度末				
	帳簿価額	時価	差損益	差	
				差益	差損
満期保有目的の債券	2,059,190	2,383,300	324,109	324,244	△134
責任準備金対応債券	11,209,377	12,711,116	1,501,738	1,502,085	△346
子会社・関連会社株式	148,577	139,764	△8,813	1,051	△9,864
その他有価証券	6,625,182	7,876,928	1,251,745	1,258,354	△6,609
公社債	1,091,825	1,139,283	47,458	47,638	△180
株式	798,117	1,567,457	769,339	775,208	△5,868
外国証券	4,419,305	4,831,990	412,685	413,226	△541
公社債	3,927,074	4,323,648	396,574	396,960	△386
株式等	492,230	508,341	16,111	16,266	△155
その他の証券	25,597	35,633	10,036	10,036	—
買入金銭債権	190,337	202,579	12,241	12,244	△2
譲渡性預金	100,000	99,983	△16	—	△16
その他	—	—	—	—	—
合 計	20,042,328	23,111,109	3,068,780	3,085,735	△16,954
公社債	12,700,583	14,272,895	1,572,311	1,572,927	△615
株式	874,743	1,644,083	769,339	775,208	△5,868
外国証券	6,151,065	6,855,933	704,867	715,319	△10,451
公社債	5,586,884	6,284,453	697,569	698,000	△431
株式等	564,181	571,479	7,297	17,318	△10,020
その他の証券	25,597	35,633	10,036	10,036	—
買入金銭債権	190,337	202,579	12,241	12,244	△2
譲渡性預金	100,000	99,983	△16	—	△16
その他	—	—	—	—	—

(注) 1. 本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

2. 有価証券のうち時価のあるものに係る時価情報の差損益と本表の差損益との差額は、平成25年度末が8,977百万円、平成26年度末が17,218百万円となっています。

不動産(土地・借地権)の差損益

(単位：百万円)

区 分	平成25年度末	平成26年度末
不動産の差損益	△33,058	△2,966

(注) 土地の時価については、不動産鑑定士による鑑定評価等による評価額、または公示価格に基づき合理的な調整を行って算定する評価額を使用しております。

d. デリバティブ取引の時価情報(ヘッジ会計適用・非適用の合算値)

●差損益の内訳(ヘッジ会計適用分・非適用分の内訳)

(単位: 百万円)

区分	平成25年度末					平成26年度末						
	金利関連	通貨関連	株式関連	債券関連	その他	合計	金利関連	通貨関連	株式関連	債券関連	その他	合計
ヘッジ会計適用分	1,834	△272,703	—	—	—	△270,869	1,259	△162,558	—	—	—	△161,298
ヘッジ会計非適用分	△847	△23,098	△1,317	1,043	—	△24,220	△1,813	△27,582	△13,591	—	—	△42,988
合計	986	△295,802	△1,317	1,043	—	△295,090	△554	△190,140	△13,591	—	—	△204,287

(注) ヘッジ会計適用分のうち時価ヘッジ適用分、及びヘッジ会計非適用分の差損益は、損益計算書に計上されています。
なお時価ヘッジ適用分の差損益は、平成25年度末通貨関連 △249,187百万円、平成26年度末通貨関連 △157,797百万円となっています。

●金利関連

(単位: 百万円)

区分	種類	平成25年度末				平成26年度末			
		契約額等		時価	差損益	契約額等		時価	差損益
		うち1年超				うち1年超			
店頭	金利スワップ								
	固定金利受取/変動金利支払	54,726	48,721	1,834	1,834	56,121	45,532	1,259	1,259
	固定金利支払/変動金利受取	34,500	—	△94	△94	—	—	—	—
店頭	金利スワップション								
	買建 固定金利支払/変動金利受取	120,000 (1,254)	120,000	500	△753	240,000 (2,241)	120,000	427	△1,813
合計				986					△554

(注) 1. ()内には、オプション料を記載しています。
2. 差損益欄には、金利スワップ取引については時価を記載し、金利スワップション取引についてはオプション料と時価との差額を記載しています。

(ご参考)金利スワップ契約の内容

(単位: 百万円、%)

区分	平成26年度末						
	1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超	合計
受取固定・支払変動スワップの想定元本額	10,588	32,012	12,985	455	80	—	56,121
平均受取固定金利	1.90	1.86	0.69	0.40	0.97	—	1.59
平均支払変動金利	0.37	0.38	0.34	0.27	0.73	—	0.37

●通貨関連

(単位: 百万円)

区分	種類	平成25年度末				平成26年度末			
		契約額等		時価	差損益	契約額等		時価	差損益
		うち1年超				うち1年超			
店頭	為替予約								
	売建	3,190,809	914,294	△268,793	△268,793	3,599,075	1,025,354	△185,110	△185,110
	(米ドル)	975,384	392,060	△34,318	△34,318	1,396,146	543,023	△134,324	△134,324
	(豪ドル)	873,240	383,402	△124,732	△124,732	1,266,522	302,024	△83,894	△83,894
	(ユーロ)	1,261,584	138,831	△100,105	△100,105	877,043	180,306	36,354	36,354
買建	1,326	489	△6	△6	165,605	—	△269	△269	
(米ドル)	1,326	489	△6	△6	165,605	—	△269	△269	
店頭	通貨オプション								
	買建	22,043	—	40	△3,485	(—)	—	—	—
	プット (米ドル)	(3,526) 22,043 (3,526)	—	40	△3,485	(—)	—	—	—
合計				△272,285					△185,380

(注) 1. ()内には、オプション料を記載しています。
2. 外貨建金銭債権債務等に為替予約又は通貨スワップが付されていることにより、決済時における円貨額が確定している外貨建金銭債権債務等で、貸借対照表において当該円貨額で表示されているものについては、開示の対象より除いています。なお、開示の対象より除いている為替予約は、平成25年度末が豪ドル売建の契約額 94,347百万円、時価 △26,543百万円、差損益 △26,543百万円、米ドル売建の契約額 32,233百万円、時価 △3,788百万円、差損益 △3,788百万円、平成26年度末が豪ドル売建の契約額 86,789百万円、時価 △30,126百万円、差損益 △30,126百万円、米ドル売建の契約額 14,519百万円、時価 △5,068百万円、差損益 △5,068百万円です。開示の対象より除いている通貨スワップは、平成25年度末が米ドルの契約額 99,480百万円、時価 6,815百万円、差損益 6,815百万円、平成26年度末が米ドルの契約額 138,885百万円、時価30,434百万円、差損益 30,434百万円です。
3. 差損益欄には、為替予約については時価を記載し、オプション取引についてはオプション料と時価との差額を記載しています。

●株式関連

(単位：百万円)

区分	種類	平成25年度末			平成26年度末				
		契約額等		時価	差損益	契約額等		時価	差損益
		うち1年超				うち1年超			
取引所	株価指数先物 売建	257,919	—	3,809	3,809	107,788	—	△1,537	△1,537
店頭	株価指数先渡 売建	108,510	—	350	350	104,122	—	△11,548	△11,548
	株価指数オプション 売建 プット	5,099 (85)	—	6	78	423 (1)	—	0	0
	買建 コール	60,000 (1,131)	30,000	712	△419	—	—	—	—
	プット	24,200 (5,179)	—	42	△5,136	19,503 (529)	—	23	△506
	合計				△1,317				△13,591

(注) 1. ()内には、オプション料を記載しています。

2. 差損益欄には、先物取引及び先渡取引については時価を記載し、オプション取引についてはオプション料と時価との差額を記載しています。

●債券関連

(単位：百万円)

区分	種類	平成25年度末			平成26年度末				
		契約額等		時価	差損益	契約額等		時価	差損益
		うち1年超				うち1年超			
取引所	債券先物 売建	293,251	—	1,043	1,043	—	—	—	—
合計					1,043				—

(注) 差損益欄には、時価を記載しています。

12 貸付金明細表(一般勘定)

(単位：百万円)

区分	平成25年度末	平成26年度末
保険約款貸付	335,002	323,711
契約者貸付	304,215	294,286
保険料振替貸付	30,787	29,424
一般貸付	2,130,536	1,998,985
(うち非居住者貸付)	(58,478)	(41,472)
企業貸付	2,069,584	1,957,219
(うち国内企業向け)	(2,056,158)	(1,944,505)
国・国際機関・政府関係機関貸付	16,973	10,510
公共団体・公企業貸付	35,740	24,704
住宅ローン	6,898	6,005
消費者ローン	1,078	544
その他	260	—
合計	2,465,539	2,322,696

13 貸付金残存期間別残高(一般勘定)

(平成25年度末)

(単位：百万円)

区分	1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超	期間の定め のないもの	合計
変動金利	11,485	28,912	24,251	27,082	78,635	5,294	103,000	278,661
固定金利	250,598	569,545	494,498	281,486	175,343	80,401	—	1,851,874
一般貸付計	262,083	598,457	518,750	308,569	253,979	85,695	103,000	2,130,536

(平成26年度末)

(単位：百万円)

区分	1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超	期間の定め のないもの	合計
変動金利	11,094	32,625	18,449	43,560	46,288	4,722	73,000	229,739
固定金利	283,816	571,605	401,769	208,473	219,399	84,182	—	1,769,245
一般貸付計	294,910	604,230	420,218	252,033	265,687	88,904	73,000	1,998,985

14 国内企業向け貸付金企業規模別内訳(一般勘定)

(単位: 件、百万円、%)

区分	平成25年度末		平成26年度末		
	金額	占率	金額	占率	
大企業	貸付先数	216	74.0	205	76.2
	金額	1,890,876	92.0	1,792,926	92.2
中堅企業	貸付先数	4	1.4	5	1.9
	金額	9,653	0.5	3,082	0.2
中小企業	貸付先数	72	24.7	59	21.9
	金額	155,628	7.6	148,496	7.6
国内企業向け貸付計	貸付先数	292	100.0	269	100.0
	金額	2,056,158	100.0	1,944,505	100.0

(注) 1. 規模の区分は業種により以下のとおり定義しています。

業種	①右の②、③、④を 除く全業種		②小売業、飲食業		③サービス業		④卸売業	
大企業	常用する 従業員 300人超かつ	資本金10億円 以上	常用する 従業員 50人超かつ	資本金10億円 以上	常用する 従業員 100人超かつ	資本金10億円 以上	常用する 従業員 100人超かつ	資本金10億円 以上
中堅企業		資本金3億円超 10億円未満		資本金5千万円超 10億円未満		資本金5千万円超 10億円未満		資本金1億円超 10億円未満
中小企業	資本金3億円以下または 常用する従業員300人以下		資本金5千万円以下または 常用する従業員50人以下		資本金5千万円以下または 常用する従業員100人以下		資本金1億円以下または 常用する従業員100人以下	

2. 貸付先数とは、各貸付先を名寄せした結果の債務者数をいい、貸付件数ではありません。

3. 従業員数及び資本金額は、資料作成時点で当社が把握しているものによります。

4. サービス業は、「物品賃貸業」、「学術研究・専門・技術サービス業」、「宿泊業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、「教育、学習支援業」、「医療・福祉」、及び「その他のサービス」で構成されます。

5. 規模の区分は、日本銀行の「貸出先別貸出金(業種別、設備資金新規貸出)」の規模区分に準拠しています。

15 貸付金業種別内訳(一般勘定)

(単位: 百万円、%)

区分	平成25年度末		平成26年度末		
	金額	占率	金額	占率	
	460,759	21.6	413,506	20.7	
国内向け	食料	18,760	0.9	19,760	1.0
	繊維	13,770	0.6	12,600	0.6
	木材・木製品	1,000	0.0	1,000	0.1
	パルプ・紙	27,462	1.3	23,966	1.2
	印刷	21	0.0	11	0.0
	化学	59,038	2.8	54,935	2.7
	石油・石炭	42,730	2.0	41,600	2.1
	窯業・土石	13,346	0.6	13,370	0.7
	鉄鋼	95,442	4.5	80,468	4.0
	非鉄金属	10,441	0.5	5,860	0.3
	金属製品	—	—	40	0.0
	はん用・生産用・業務用機械	45,275	2.1	35,281	1.8
	電気機械	61,127	2.9	63,097	3.2
	輸送用機械	64,644	3.0	53,916	2.7
	その他の製造業	7,700	0.4	7,600	0.4
	農業、林業	—	—	—	—
	漁業	—	—	—	—
	鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	—	—
	建設業	3,746	0.2	3,614	0.2
	電気・ガス・熱供給・水道業	317,958	14.9	294,476	14.7
情報通信業	47,981	2.3	38,900	1.9	
運輸業、郵便業	140,022	6.6	136,341	6.8	
卸売業	510,384	24.0	497,277	24.9	
小売業	11,291	0.5	8,214	0.4	
金融業、保険業	341,472	16.0	315,414	15.8	
不動産業	135,516	6.4	135,572	6.8	
物品賃貸業	87,438	4.1	95,897	4.8	
学術研究・専門・技術サービス業	1	0.0	—	—	
宿泊業	99	0.0	62	0.0	
飲食業	13	0.0	5	0.0	
生活関連サービス業、娯楽業	10	0.0	—	—	
教育、学習支援業	—	—	—	—	
医療・福祉	260	0.0	—	—	
その他のサービス	5,825	0.3	11,247	0.6	
地方公共団体	1,297	0.1	431	0.0	
個人(住宅・消費・納税資金等)	7,977	0.4	6,550	0.3	
合計	2,072,057	97.3	1,957,512	97.9	
海外向け	政府等	45,053	2.1	28,758	1.4
	金融機関	12,000	0.6	12,000	0.6
	商工業等	1,425	0.1	714	0.0
	合計	58,478	2.7	41,472	2.1
一般貸付計	2,130,536	100.0	1,998,985	100.0	

(注) 国内向けの区分は、日本銀行の「貸出先別貸出金(業種別、設備資金新規貸出)」の業種分類に準拠しています。

16 貸付金使途別内訳(一般勘定)

(単位:百万円,%)

区 分	平成25年度末		平成26年度末	
	金額	占率	金額	占率
設備資金	442,446	20.8	398,480	19.9
運転資金	1,274,290	59.8	1,232,369	61.6

(注) 占率には、一般貸付金残高に対する割合を記載しています。

17 貸付金地域別内訳(一般勘定)

(単位:百万円,%)

区 分	平成25年度末		平成26年度末	
	金額	占率	金額	占率
北海道	12,644	0.6	11,223	0.6
東 北	38,486	1.9	38,013	1.9
関 東	1,453,114	70.4	1,398,304	71.7
中 部	143,402	6.9	130,898	6.7
近 畿	295,836	14.3	273,284	14.0
中 国	61,620	3.0	49,717	2.5
四 国	19,223	0.9	10,243	0.5
九 州	39,751	1.9	39,275	2.0
合 計	2,064,080	100.0	1,950,962	100.0

(注) 1. 個人ローン、非居住者貸付、保険約款貸付等を含みません。
2. 地域区分は、資料作成時点で当社が把握している貸付先の本社所在地によります。

18 貸付金担保別内訳(一般勘定)

(単位:百万円,%)

区 分	平成25年度末		平成26年度末	
	金額	占率	金額	占率
担保貸付	340	0.0	851	0.0
有価証券担保貸付	185	0.0	731	0.0
不動産・動産・財団担保貸付	155	0.0	120	0.0
指名債権担保貸付	—	—	—	—
保証貸付	80,195	3.8	52,736	2.6
信用貸付	2,042,022	95.8	1,938,846	97.0
その他	7,977	0.4	6,550	0.3
一般貸付計	2,130,536	100.0	1,998,985	100.0
うち劣後特約貸付	223,000	10.5	181,000	9.1

19 リスク管理債権の状況

(単位:百万円,%)

区 分	平成25年度末	平成26年度末
破綻先債権額	—	—
延滞債権額	1,139	1,066
3か月以上延滞債権額	0	0
貸付条件緩和債権額	260	—
合 計	1,400	1,066
(貸付残高に対する比率)	(0.06)	(0.05)

(注) 1. 破綻先及び実質破綻先に対する担保・保証付債権等について、債権額から担保の評価額及び保証等による回収が可能と認められる金額を控除した残額を取立不能見込額として債権額から直接減額しています。その金額は、平成25年度末が延滞債権額40百万円、平成26年度末が延滞債権額34百万円です。
2. 破綻先債権とは、元本又は利息の支払の遅延が相当期間継続していることその他の事由により元本又は利息の取立て又は弁済の見込みがないものとして未取利息を計上しなかった貸付金(未取利息不計上貸付金)のうち、会社更生法、民事再生法、破産法、会社法等による手続き申立てにより法的倒産となった債務者、又は手形交換所の取引停止処分を受けた債務者、あるいは、海外の法律により上記に準ずる法律上の手続き申立てがあった債務者に対する貸付金です。
3. 延滞債権とは、未取利息不計上貸付金であって、上記破綻先債権及び債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として利息の支払を猶予したものの以外の貸付金です。
4. 3か月以上延滞債権とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3か月以上遅延しているもので、破綻先債権、延滞債権に該当しない貸付金です。
5. 貸付条件緩和債権とは、債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行ったもので、破綻先債権、延滞債権及び3か月以上延滞債権に該当しない貸付金です。

20 債務者区分による債権の状況

(単位：百万円、%)

区分	平成25年度末	平成26年度末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	—	—
危険債権	1,174	1,099
要管理債権	260	0
小計 (対合計比)	1,435 (0.04)	1,099 (0.03)
正常債権	3,225,885	3,662,585
合計	3,227,320	3,663,684

- (注) 1. 破産更生債権及びこれらに準ずる債権とは、破産手続開始、更生手続開始又は再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
 2. 危険債権とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
 3. 要管理債権とは、3か月以上延滞貸付金及び条件緩和貸付金です。なお、3か月以上延滞貸付金とは、元本又は利息の支払が、約定支払日の翌日から3か月以上遅延している貸付金(注1及び2に掲げる債権を除く。)、条件緩和貸付金とは、債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸付金(注1及び2に掲げる債権並びに3か月以上延滞貸付金を除く。)です。
 4. 正常債権とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、注1から3までに掲げる債権以外のものに区分される債権です。

(ご参考)貸付金に関わる自己査定状況

(単位：億円、%)

区分	平成25年度末		平成26年度末	
	金額	占率	金額	占率
非分類	24,443	99.1	23,091	99.4
Ⅱ分類	211	0.9	135	0.6
Ⅲ分類	0	0.0	0	0.0
Ⅳ分類	—	—	—	—
貸付金残高	24,655	100.0	23,226	100.0

- (注) 1. Ⅲ分類債権に対して、個別貸倒引当金を、平成25年度末は0億円、平成26年度末は0億円計上しています。
 2. 破綻先及び実質破綻先に対する債権については、債権額から担保の評価額及び保証等による回収可能見込額を控除した残額を取立不能見込額として債権額から直接減額しており、その金額は、平成25年度末が0億円、平成26年度末が0億円です。

(ご参考)貸倒引当金の状況

(単位：億円)

区分	平成25年度末	平成26年度末
個別貸倒引当金残高	5	6
一般貸倒引当金残高	16	11
貸倒引当金合計	21	17

21 元本補填契約のある信託に係る貸出金の状況

該当ありません。

22 保険金等の支払能力の充実の状況(ソルベンシー・マージン比率)

(単位:百万円)

項目	平成25年度末	平成26年度末
ソルベンシー・マージン総額(A)	2,786,323	3,437,326
基金等	950,964	998,162
価格変動準備金	231,447	252,247
危険準備金	301,300	315,100
一般貸倒引当金	1,608	1,154
その他有価証券の評価差額×90%(マイナスの場合100%)	547,353	1,126,570
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	△85,857	△44,934
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	618,752	629,870
負債性資本調達手段等	201,980	149,480
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	△61,364	△66,364
その他	80,137	76,039
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_8)^2+(R_2+R_3+R_7)^2}+R_4$ (B)	627,363	728,027
保険リスク相当額 R_1	81,995	79,336
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	49,568	50,657
予定利率リスク相当額 R_2	220,353	215,469
最低保証リスク相当額 R_7^*	52,793	32,738
資産運用リスク相当額 R_3	325,325	451,253
経営管理リスク相当額 R_4	14,600	16,589
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	888.2%	944.2%

*最低保証リスク相当額は、平成8年大蔵省告示第50号別表6の2に定める標準的方式により算出しています。

(注) 上記は、保険業法第130条、保険業法施行規則第86条及び第87条並びに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

◆ソルベンシー・マージン比率について

「ソルベンシー・マージン」とは、大地震や株の大暴落といった通常予測できる範囲を超える諸リスクに対応するための「支払余力」を意味していません。

ソルベンシー・マージン比率とは、通常予測できる範囲を超える諸リスクを数値化した「リスクの合計額」に対する「ソルベンシー・マージン総額」の比率であり、通常の予測を超えて発生するリスクをどれだけカバーできるかを表す指標のひとつです。

この数値が200%を下回った場合、監督当局によって「早期是正措置」が発動されます。

ソルベンシー・マージン比率は経営の健全性を示す一つの指標ですが、この比率だけをとらえて経営の健全性の全てを判断することは適当ではありません。資産運用の状況や業績の推移等の経営情報などから総合的に判断する必要があります。

◆ソルベンシー・マージン総額について

「ソルベンシー・マージン総額」を構成する各項目の内容および法令上の根拠は以下のとおりです。

項目	内容	法令上の根拠
基金等	貸借対照表上の純資産の部合計から、評価・換算差額等合計を控除したうえ、剰余金の処分として支出する金額(社員配当準備金に積み立てる金額を含みます。)を控除した額を記載しています。なお、規則第86条第1項第1号に定める事項のうち、「保険業法(以下、「法」)第113条前段の規定により貸借対照表の資産の部に計上した金額及び繰延資産として貸借対照表の資産の部に計上した金額」については、当社には該当事項はありません。	保険業法施行規則(以下、「規則」)第86条第1項第1号
基金等	$\text{基金等} = \text{貸借対照表上の純資産の部合計} - \text{評価・換算差額等合計} - \text{剰余金の処分として支出する金額} - \text{その他(繰延資産等)}$	
基金	「基金等」に含まれる項目のうち、基金については、以下のとおりです。 ・基金は、株式会社の資本金に該当する相互会社の担保財産として保険業法で定められているもので、貸借対照表上の純資産の部に計上されています。 ・基金は契約で定められた期日に償却を行いますが、元金の返済に加えて、別途、同額の基金償却積立金を内部留保として積み立てることが必要とされています。基金の償却期日については、168ページの「基金償却スケジュール」をご覧ください。	
価格変動準備金	貸借対照表上の価格変動準備金の額を記載しています。 価格変動準備金は、法第115条第1項により、保険会社に対し、所有する株式等の価格変動により生じ得る損失に備えて積み立てることが求められているものです。 株式等の売買等による損失の額が株式等の売買等による利益の額を超える場合においてその差額をてん補に充てる場合、その他金融庁長官の認可を受けたとき、取崩すことができます。	規則第86条第1項第2号

危険準備金	貸借対照表上の責任準備金の一部である危険準備金の額を記載しています。 危険準備金は、規則第69条第1項第3号により、保険会社に対し、保険契約に基づく将来の債務を確実に履行するため将来発生が見込まれる危険(保険リスク、第三分野保険の保険リスク、予定利率リスク、最低保証リスク)に備えて積み立てることが求められているものです。死差損・利差損がある場合、最低保証に係る取残が負の場合において、当該損失のてん補に充てるときに取崩すことができます。 なお、業務又は財産の状況等に照らし、やむを得ない事情がある場合には、これらによらない取崩しを行うことができます。 ※保険リスク、第三分野保険の保険リスク、予定利率リスク、最低保証リスクの意味については、「リスクの合計額について」をご覧ください。	規則第86条第1項第3号															
一般貸倒引当金	貸借対照表上の貸倒引当金の一部である一般貸倒引当金の額を記載しています。	規則第86条第1項第4号															
その他有価証券の評価差額	その他有価証券の貸借対照表計上額の合計額と帳簿価額の合計額の差額に、当該金額がプラスの場合は90%を、マイナスの場合は100%を乗じて得た額を記載しています。	規則第86条第1項第5号															
土地の含み損益	土地の時価と帳簿価額の差額に、当該金額がプラスの場合は85%を、マイナスの場合は100%を乗じて得た額を記載しています。土地の時価と帳簿価額の差額には、貸借対照表上の土地再評価差額金および貸借対照表上の再評価に係る繰延税金負債の合計額が含まれます。	規則第86条第1項第6号															
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	貸借対照表上の責任準備金の一部である以下のアの額からイ及びウの合計額を控除した残額を記載しています。 ア. 保険料積立金及び未経過保険料の合計額 イ. 以下の①と②のいずれか大きい額 ① 保険契約の締結時の費用を保険料払込期間にわたり償却する方法その他これに類似する方法により計算した保険料積立金の額に未経過保険料を加えた額 ② 保有する保険契約が保険事故未発生のまま消滅したとして計算した支払相当額 ウ. 規則第69条第5項の規定に基づき追加して積み立てた保険料積立金の額を積み立てていないものとして、法第121条第1項に基づき保険計理人が行う確認その他の検証により、追加して積み立てておくことが必要である保険料積立金の額	規則第86条第1項第7号及び平成8年大蔵省告示(以下、「告示」)第50号第1条第4項第1号															
負債性資本調達手段等	貸借対照表上の社債及び借入金の一部である以下の負債性資本調達手段等の額を記載しています。 (単位：百万円) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">平成25年度末</th> <th style="text-align: center;">平成26年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負債性資本調達手段等の額(①+②+③)</td> <td style="text-align: right;">201,980</td> <td style="text-align: right;">149,480</td> </tr> <tr> <td>告示第50号第1条第4項第5号イに掲げるもの(永久劣後債務)の額(①)</td> <td style="text-align: right;">102,500</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>告示第50号第1条第4項第5号ロに掲げるもの(期限付劣後債務)の額(②)</td> <td style="text-align: right;">99,480</td> <td style="text-align: right;">149,480</td> </tr> <tr> <td>不算入額(③)</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	平成25年度末	平成26年度末	負債性資本調達手段等の額(①+②+③)	201,980	149,480	告示第50号第1条第4項第5号イに掲げるもの(永久劣後債務)の額(①)	102,500	—	告示第50号第1条第4項第5号ロに掲げるもの(期限付劣後債務)の額(②)	99,480	149,480	不算入額(③)	—	—	規則第86条第1項第7号及び告示第50号第1条第4項第5号
項目	平成25年度末	平成26年度末															
負債性資本調達手段等の額(①+②+③)	201,980	149,480															
告示第50号第1条第4項第5号イに掲げるもの(永久劣後債務)の額(①)	102,500	—															
告示第50号第1条第4項第5号ロに掲げるもの(期限付劣後債務)の額(②)	99,480	149,480															
不算入額(③)	—	—															
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	全期チルメル式責任準備金相当額超過額と負債性資本調達手段等(告示第50号第1条第6項に規定される特定負債性資本調達手段を除く)の合計額のうち、中核的支払余力(基金等、価格変動準備金、危険準備金、配当準備金未割部分、マイナスのその他有価証券評価差額金の合計額から繰延税金資産の不算入額を控除した額)を超過する額を記載しています。	規則第86条第1項第7号及び告示第50号第1条第5項															
控除項目	当社が保有している他の保険会社や金融機関等の資本調達手段等のうち、保険会社向けの総合的な監督指針に規定されている「意図的保有」に該当する金額を記載しています。	規則第86条第1項第7号及び告示第50号第1条の2															
その他	以下の各金額の合計額を記載しています。 ア. 繰延税金資産の不算入額。繰延税金資産(価格変動準備金、保険契約準備金、評価・換算差額等に係る額を除く)のうち、告示第50号第1条第1項に規定される繰延税金資産算入基準額の20%を超過する額です。 イ. 配当準備金未割部分。配当準備金未割部分は、貸借対照表上の社員配当準備金(社員配当準備金繰入額から翌期配当所要額を控除した額を含む。)のうち、社員に対する剰余金の分配として割り当てた額を超える額です。 ウ. 税効果相当額。税効果相当額は、任意積立金の取崩しを行うこと等によりリスク対応財源として期待できるものとして計算した額です。	規則第86条第1項及び告示第50号第1条第1項、第4項第2号、第3号、第7項															

◆リスクの合計額について

「リスクの合計額」を構成する各項目の内容および法令上の根拠は以下のとおりです。

項目	内容	法令上の根拠
保険リスク相当額	保険リスクに対応する額を記載しています。 保険リスクは、「実際の保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険」のうち、第三分野保険に係るもの以外のものです。 保険リスクは、普通死亡リスク、生存保障リスク、その他のリスクで構成されます。	規則第87条第1号
第三分野保険の保険リスク相当額	第三分野保険の保険リスクに対応する額を記載しています。 第三分野保険の保険リスクは、「実際の保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険」のうち、第三分野保険に係るものです。 第三分野保険の保険リスクは、ストレステストの対象とするリスク、災害死亡リスク、災害入院リスク、疾病入院リスク、その他のリスクで構成されます。	規則第87条第1号の2
予定利率リスク相当額	予定利率リスクに対応する額を記載しています。 予定利率リスクは、「責任準備金の算出の基礎となる予定利率を確保できなくなる危険」です。	規則第87条第2号
最低保証リスク相当額	最低保証リスクに対応する額を記載しています。 最低保証リスクは、「特別勘定を設けた保険契約であって、保険金等の額を最低保証するものについて、当該保険金等を支払うときにおける特別勘定に属する財産の価額が、当該保険契約が最低保証する保険金等の額を下回る危険であって、当該特別勘定に属する財産の通常の予測を超える価額の変動等により発生し得る危険」です。	規則第87条第2号の2
資産運用リスク相当額	資産運用リスクに対応する額を記載しています。 資産運用リスクは、「資産の運用等に関する危険であって、保有する有価証券その他の資産の通常の予測を超える価格の変動その他の理由により発生し得る危険」です。 資産運用リスクは、価格変動等リスク、信用リスク、子会社等リスク、デリバティブ取引リスク、信用スプレッドリスク、再保険リスク、再保険回収リスクで構成されます。	規則第87条第3号
経営管理リスク相当額	経営管理リスクに対応する額を記載しています。 経営管理リスクは、「業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険であって、保険リスク、第三分野保険の保険リスク、予定利率リスク、最低保証リスクおよび資産運用リスクに該当しないもの」です。	規則第87条第4号

23 有形固定資産明細表

a. 有形固定資産の明細

(平成25年度)

(単位：百万円、%)

区分	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期償却額	当期末残高	減価償却累計額	償却累計率
土地	481,596	438	51,962 (29,329)	—	430,073	—	—
建物	327,685	7,484	46,835 (20,428)	18,822	269,512	424,197	61.1
リース資産	4,241	1,003	64	976	4,204	2,156	33.9
建設仮勘定	532	2,979	1,885	—	1,626	—	—
その他の有形固定資産	5,379	1,145	173	1,633	4,717	25,140	84.1
合計	819,435	13,051	100,920	21,432	710,134	451,494	—

(平成26年度)

(単位：百万円、%)

区分	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期償却額	当期末残高	減価償却累計額	償却累計率
土地	430,073	501	20,475 (6,776)	—	410,099	—	—
建物	269,512	11,615	14,777 (6,776)	15,225	251,124	418,034	62.4
リース資産	4,204	100	7	1,155	3,140	3,309	51.3
建設仮勘定	1,626	2,199	3,652	—	173	—	—
その他の有形固定資産	4,717	1,174	106	1,509	4,276	24,543	85.1
合計	710,134	15,591	39,019	17,890	668,815	445,887	—

(注) 1. 土地、建物[当期増加額][当期減少額]には、帳簿上の次の金額を含みます。
 ①建設仮勘定からの振り替え分(当期増加) ②圧縮損経理による減少分
 2. 「当期減少額」欄の()内には、減損損失の計上額を記載しています。
 3. 平成26年度末の賃貸等不動産残高は、466,204百万円です。

b. 不動産残高及び賃貸用ビル保有数

(単位：百万円)

区分	平成25年度末	平成26年度末
不動産残高	701,212	661,398
営業用	204,123	197,107
賃貸用	497,088	464,290
賃貸用ビル保有数	147棟	132棟

24 その他の資産明細表

(平成25年度)

(単位：百万円)

資産の種類	取得原価	当期増加額	当期減少額	減価償却累計額	当期末残高
繰延資産	31,572	82	597	29,274	2,298
その他	8,133	319	1	5,167	2,966
合計	39,706	401	599	34,441	5,264

(平成26年度)

(単位：百万円)

資産の種類	取得原価	当期増加額	当期減少額	減価償却累計額	当期末残高
繰延資産	31,500	56	555	29,701	1,798
その他	7,664	785	1255	5,167	2,496
合計	39,165	842	1811	34,869	4,295

25 公共関係投融资の状況(一般勘定)

(単位:百万円)

区分		平成25年度	平成26年度
公共債	国債	—	—
	地方債	—	—
	公社・公団債	2,067	1,480
	小計	2,067	1,480
貸付	政府関係機関	1,920	1,752
	公共団体・公企業	—	—
	小計	1,920	1,752
合計	3,987	3,232	

(注)上記表の公共債・貸付欄にはそれぞれ各年度の国内向け新規引受額、新規貸出額を記入しています。

26 海外投融资の状況(一般勘定)

a. 資産別明細

●外貨建資産

(単位:百万円、%)

区分	平成25年度末		平成26年度末	
	金額	占率	金額	占率
公社債	3,716,868	62.4	4,301,446	63.4
株式等	82,088	1.4	124,530	1.8
現預金・その他	57,246	1.0	47,511	0.7
外貨建資産計	3,856,203	64.8	4,473,488	65.9

●円貨額が確定した外貨建資産

(単位:百万円、%)

区分	平成25年度末		平成26年度末	
	金額	占率	金額	占率
貸付金	—	—	39,405	0.6
公社債	110,323	1.9	92,712	1.4
現預金・その他	60,793	1.0	28,013	0.4
円貨額が確定した外貨建資産計	171,117	2.9	160,130	2.4

(注)「円貨額が確定した外貨建資産」は、為替予約等が付されていることにより決済時の円貨額が確定し、当該円貨額を資産の貸借対照表価額としているものです。

●円貨建資産

(単位:百万円、%)

区分	平成25年度末		平成26年度末	
	金額	占率	金額	占率
非居住者貸付	58,478	1.0	41,472	0.6
公社債	1,371,811	23.0	1,634,445	24.1
株式等	455,762	7.7	455,762	6.7
その他	41,478	0.7	21,310	0.3
円貨建資産計	1,927,531	32.4	2,152,990	31.7

●合計

(単位:百万円、%)

区分	平成25年度末		平成26年度末	
	金額	占率	金額	占率
海外投融资	5,954,851	100.0	6,786,610	100.0

b. 海外投融資の地域別構成 (平成25年度末)

(単位：百万円、%)

区分	外国証券		公社債		株式等		非居住者貸付	
	金額	占率	金額	占率	金額	占率	金額	占率
北米	939,976	16.4	939,312	18.1	663	0.1	5,000	8.6
ヨーロッパ	2,355,682	41.1	2,355,682	45.4	—	—	32,000	54.7
オセアニア	237,751	4.1	237,751	4.6	—	—	5,000	8.6
アジア	79,868	1.4	2,013	0.0	77,855	14.5	—	—
中南米	1,690,304	29.5	1,230,973	23.7	459,331	85.4	1,425	2.4
中東	—	—	—	—	—	—	—	—
アフリカ	—	—	—	—	—	—	—	—
国際機関	425,522	7.4	425,522	8.2	—	—	15,053	25.7
合計	5,729,106	100.0	5,191,255	100.0	537,850	100.0	58,478	100.0

(平成26年度末)

(単位：百万円、%)

区分	外国証券		公社債		株式等		非居住者貸付	
	金額	占率	金額	占率	金額	占率	金額	占率
北米	1,391,664	21.2	1,391,000	23.2	663	0.1	5,000	12.1
ヨーロッパ	1,956,811	29.8	1,956,811	32.7	—	—	22,000	53.0
オセアニア	436,302	6.6	436,302	7.3	—	—	5,000	12.1
アジア	124,139	1.9	2,065	0.0	122,074	21.0	—	—
中南米	2,107,294	32.1	1,649,740	27.6	457,554	78.8	714	1.7
中東	—	—	—	—	—	—	—	—
アフリカ	3,539	0.1	3,539	0.1	—	—	—	—
国際機関	543,999	8.3	543,999	9.1	—	—	8,758	21.1
合計	6,563,751	100.0	5,983,458	100.0	580,292	100.0	41,472	100.0

(注) 1. 本表は発行会社の国籍に基づき作成されています。

2. 中南米向け外国証券は、その大部分が中南米に設立されたSPC(特定目的会社)が発行する円建の債券もしくは優先出資証券、またはオルタナティブ投資等であり、発行会社の国籍に基づき中南米に分類されているものの、実質的には日本や北米・ヨーロッパ地域への投資です。また、貸付は同地域に設立された本邦企業100%出資のSPC向け貸付(親会社の保証付)となっています。

c. 外貨建資産の通貨別構成

(単位：百万円、%)

区分	平成25年度末		平成26年度末	
	金額	占率	金額	占率
米ドル	1,290,939	33.5	2,044,058	45.7
豪ドル	1,059,538	27.5	1,447,192	32.4
ユーロ	1,339,265	34.7	795,519	17.8
英ポンド	88,240	2.3	64,453	1.4
中国元	43,753	1.1	50,794	1.1
インドネシアルピア	21	0.0	38,255	0.9
ベトナムドン	33,203	0.9	33,189	0.7
その他	1,240	0.0	25	0.0
合計	3,856,203	100.0	4,473,488	100.0